



お彼岸は
9月20日(彼岸入り)から9月26日(彼岸明け)
の一週間です。23日はお中日です。
お中日9月23日(水)11時から12時まで合同
法要です。皆様で讃佛偈をお勤めした後「阿
弥陀様を身近に」のお話をします。
皆様おそろいでお出かけください。
お彼岸の意味(これまでとは違った説明です)
浄土真宗はこの世の縁がつきるとき、阿弥陀
の西方極楽浄土に生まれ、皆が一緒になる。
それが(俱会一処)です。あなたが故人や御先
祖を想う時、故人や御先祖の氣があなたの氣
持ちに還り、あなたを支えます。もちろん生
前に故人との縁が深いことが前提です。
そして阿弥陀様に全てを任せている信心が
あることです。

もうすぐ秋のお彼岸です



住職 網代 正孝



信心があるか否かの自己判断は次の
ことでチェックしてみてください。

1、阿弥陀様の前で「南無阿弥陀仏」
が自然と出てきますか、またその
ような気持ちになつていますか？

2、阿弥陀様の前で自然に合掌礼拝が
出来ますか、またそうしなければ
と思いますか？

3、また、阿弥陀様のカードを肌身離さず持
参して、これで安心だと思えますか？

4、部屋の中のカードが気になりますか？

5、お墓参りが気になりますか？

6、私はいつも大きな力に支えられていると
思っていますか？

はい、が4つ以上は欲しいのです。

お彼岸のお墓参り

阿弥陀様の光の中で御先祖があなたを支え
る春と秋の年に2回。阿弥陀様の光の中で彼
岸に往生した故人や御先祖と、気持ちのやり
とりをする。この一週間で浄土真宗のお彼岸
です。

気持ちのやりとりが一番出来るのが、ご本堂
か墓前です。どちらかというとお墓の方が故人
とは触れ合いが深くなる様です。ですからお彼
岸にお寺に来て、お墓参りをするのです。

あるお檀家のおはなし

阿弥陀様のカードを見た時、「そうだとお墓参
りに行こう」と気がつきました。

ほかのお檀家は、部屋に張ってある阿弥陀
様のカードはいつも私をガイド
してくれます。と、7月のお盆
に来られたお檀家の方が話して
くれました。阿弥陀様が身近に
あることが大事です。

部屋に張った阿弥陀様のカー
ドの光はすごい力です。延浄寺
の事業の中心はここにありそう
です。と言っても8月15日に来
られた方は13名でした。これか



阿弥陀様像 6枚



阿弥陀様のカード 3枚

からです。

今の時代こそ阿弥陀様の力が私達に必要で
あると思います。

お寺はつぶれる その1

生きている方への、お寺の関わりが大切

(お寺の生き残り)はここにありますが、亡くなら
れた方の、葬儀、法事のお布施では、給料は出
せなくなりました。高齢化が進み亡くなられ
た方が超高齢者で、施主は年金生活者です。

故人との触れあいも少なくなり、葬儀・法
要の規模はどんどん小さくなります。特にコ
ロナ以降激減しました。仏事が信心より習慣
できたからです。

「寺はつぶれる」はあたりまえです。

私は新しい形の直葬を考え、経済的に大変
な方はその方向で進めています。直葬は寺と
関係の深い町の葬儀社がつとめます。大きな
葬儀社は葬儀の舞台作り業者で、実際は広告
の2〜3倍の経費がかかってしまうからです。

ただ、直葬であっても火葬費やお棺、火葬
待ちの日数を含めると、葬儀社への支払いだ
けで、時には30万〜40万円はお金がかかって
しまうことがあります。

寺への布施

このように後の生活の負担も大きいため、
寺への葬儀布施は目安が付いたらで結構です。
これはお檀家と寺との信頼関係があるからで
きることです。でも7月の私の給料は31日に
やっと出ました。葬儀が25日前後にあったか

からです。最近では頂けるところからは40万円前

後はお布施で頂いています。院号をつける場
合は院号布施で、別に50万円いただきます。

布施は定価では無いですが、最近では7回
忌も法事をせずにお墓参りで終わりにする傾
向があります。10年前、17回忌でも法事が当
たり前でした。これからのお布施は施主だけ
で無く、兄弟親戚などが「付け布施」をつけて、
高齢者の施主を助けるのが普通にならなくて
はいけません。

そして、参加者から少しずつ「付け布施」
を頂き全体を増やす方法をとってください。
そしてコンビニあたりで各自が弁当を買って
きて寺で会食をし、触れ合いを深めれば良い
葬儀になります。法事も同じです。

阿弥陀様を身近に置く カードが大切

阿弥陀様の「智慧と慈悲の光」を各部屋に

浄土真宗は阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え
る教団です。阿弥陀様は智慧と慈悲の光です。

私は仏壇の中に納めるのでは無く、もつと
身近に置かなくてはならないと思っています。
そのためには生活の場、「部屋の全てに阿弥陀
様の光を」と言うわけでカードを思いつい
たのです。

延浄寺では阿弥陀様の光を身近に感じるよ
うに、阿弥陀様のカードを多くの方に広げて
いきたいと思っています。高齢社会の中で高
齢になればなるほど、全てを任せられる阿弥陀
様が身近に必要なのです。

玄関に阿弥陀様の光の封筒があります。1
万円前後で1世帯に一つずつお持ち帰りくだ
さい。お金がない場合は3千円でも5千円でも
結構です。

ご法事の時には寺からのお布施として、各
世帯に「阿弥陀様の光」の封筒を差し上げます。

高齢者はカードがあれば

お寺が「つぶれる」のを待つのでは無く、
生きている方達、特に長く続く高齢期間に阿
弥陀様の力を頂く、そして安心して、いい人
生の終わりを目指す生き方が良いのです。

無憂感の中で「ピンピンコロリ」の生き方ができます。失うものが多い高齢期間に、阿弥陀様がいつも支えてくれる。その光が身近にあることです。

少子高齢化の日本の課題は国や自治体は少子については、いろいろ案を出し予算をつけるますが、激増する高齢者に対しては、特に目立つ政策もないのです。

精神的なよりどころに

高齢者が一番心配なのは精神的な「よりどころ」です。阿弥陀様に全てを任せる浄土真宗は、これから益々必要になります。多くのお寺でカードを扱って欲しいと思っています。それが「お寺が生き残る」大きな力になるからです。

お陰様で長尾英治は僧侶の資格が取れました英治が得度を済ませ法名釋英治に

お陰様で延浄寺の次期住職予定者の長尾英治(53)が、この9月末に僧侶の資格が取れます。4月から築地本願寺に毎日通い9月からは京都の本山で僧籍取得のため得度研修を受けます。9月末には僧侶の資格を取得できます。

法要も英治が徐々に勤めることになります。お檀家の皆様に育てて頂きます、どうぞ宜しくお願い致します。

お中日の合同法要には出席しますので、皆様にご挨拶致します。住職の資格取得は、あと1年はかかります。住職の資格が取れ次第、私の命があるときに住職を交代したいと思っています。

お寺はつぶれる その2

住職交代するまでに寺のあり方を変えたい。寺は生きている人のためにある。と言うことで、数年前から延浄寺会館で、前回の便りでご案内したように、寺に入りやすいようなクラブや集いを10以上行なっています。好きなクラブがあれば、だれでも自由に無

料で参加できるクラブです。

2年間を一区切りとしていますが、延長も可能です。

寺は生きている人に

寺を地域に開放することを第一にしていますが、最近参加者は多くなり200名を超えているようです。また全体のお世話をしてくれる担当者は元校長先生を10年間もされた西村昭比古先生です。私は若いときに中学校の教師をしていましたが、西村先生はその時の卒業生です。

地域に開かれたこれらの活動の問題

この活動は寺の活動です。その基本は信心です。信心は無いが歌が好きだから歌声クラブにきている方もいます。お檀家の方は別ですが、2年間は様子を見ることが、2年間で寺の方に気持ちに向いているか、いないか、です。

住職の私も参加者として、お一人お一人を観ています。

寺として信心は嫌いだ、歌が好きだからきている。こういう方が目立ち、指導者に注文をつける方もいます。また一人で4つも5つも、いろんな会に参加している方もおります。

この会は入会無料ですが、指導料その他を合わせてかなりの経費がかかっています。

「寺はつぶれる」つぶれないように地域の人が「入りやすい入り口」を作るのが大きな目的ですが、このあたりをどうするかが大きな課題になってきています。お檀家の皆さん方のご意見を聞きたいところです。

自分が好きだから来ている方は寺の方向と一致しませんから、今年度をけじめとして、住職が交代する前にご遠慮頂いた方が良いという意見も目立ちます。

私の方針と参加者の目的が違っている場合は、繰り返しですが、私の方針で決めていきたいと思っています。

お檀家の場合は関係がありませんが、ではどうすれば良いのか判断に迷う場合は、次の項目を具体的にチェックしてみてください。

- 1、第一月曜日の法話は出席したことが無い。
- 2、本堂におまいりもしない。
- 3、自分の楽しみを満たすために来ている。
- 4、何らかの奉仕(無畏施)もされない。※左表参照
- 5、寺の事業・活動に参加していない。
- 2つ以上に当てはまる方は、ご遠慮頂くのが良いと思います。

この事業をどのように続けるか否かも今年度中に結論を出し、次の住職に引き継ぐことにします。

ある程度整理をしないと、お檀家の方にも申し訳ないのです。繰り返しですが、お檀家から頂いた布施で運営しているので、ご自分の楽しみだけで参加される活動ではないのです。

奉仕の心

—無畏施(無財の七施)—

1. 眼施(げんせ)：人にやさしいまなざしをもって接すること。
2. 和願悦色施(わがんえつじきせ)：にこやかな微笑をたたえた顔。
3. 言辞施(げんじせ)：言葉の美しさ。やさしい声で接すること。
4. 身施(しんせ)：勤労奉仕のこと、他人のために働くということ。
5. 心施(しんせ)：感謝の心、ありがとうということ。
6. 壮座施(しょうざせ)：感謝の心、ありがとうということ。
7. 房舎施(ぼうじゃせ)：一宿一飯の施しということ。

人間には何はなくても、人に七つの姿でさしあげられるものがあります。

仏陀の樹木が4本

私が調布6中にいたときの卒業生が、苗木などを販売する店を持っています。そこで仏陀の樹木の苗木を集めてくれました。あと70年後、延浄寺の境内には10mを超える由緒ある仏陀の樹が目立つでしょう。



菩提樹

その樹の根元に座り
仏陀は悟りを得た



無憂の樹

仏陀が生まれた所にあった樹
(仏陀はお釈迦様です)



沙羅双樹

この樹に囲まれ
仏陀が入滅した



仏陀竹

仏陀に由来のある竹

葬儀と年回法要についてはいつでも相談に応じます。電話でも結構です。住職の携帯は090-4724-5533です。葬儀などの緊急の場合は何時でも結構です。